

動画で見る消防



動画は各QRからご覧ください！

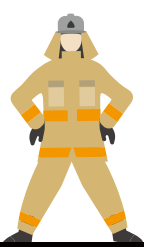
再生回数 **4.4万回突破!**

茨城県内初の女性救助隊員を動画で紹介！
「自分の力で守れる命がある」
災害に挑む彼女の姿に密着



消防ワンポイント

空気が乾燥し、火災が起こりやすいこの時期！
火災予防のポイントを、分かりやすく紹介します
守ろう！安心・安全なまち「ひたち」！



消防ワンポイント▶ キッチンの火災

油断禁物！！
天ぷら油
火災



消防ワンポイント▶ 電気が原因の火災

ゴミセートの
使い方に
注意！！



消防ワンポイント▶ 身近に潜む火災

いのちを守る
100の
ポイント



消防ワンポイント▶ 放火による火災

放火されない！
させない！
環境に！！



東日本大震災から 12 年

できていますか 災害への備え

3月11日で、東日本大震災から12年が経過します。

東日本大震災以降、熊本地震や福島県沖地震など、全国各地で大規模な地震がたびたび発生しています。

また、内閣府は、日立市にも被害が出ると想定される日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震など、高い確率で今後30年以内に大地震が発生すると発表しています。

地震は「来るかもしれない」ではなく、「いつか必ず来る」と考え、事前に「備える」ことが大切です。

東日本大震災の経験を忘れず、自分や家族、地域の方など、大切な人の命を守るため、改めて、日ごろからできる備えを確認しましょう。



「防災情報の収集手段」を確認

テレビやラジオ、インターネットのほか、市からの防災行政無線やHPなどで防災情報を確認できます。毎日午後4時55分に放送される天気予報で、ご自宅の戸別受信機が正常に受信できているか確認しましょう。

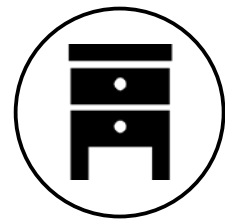
チェックしてみよう！

～あなたは大丈夫？～

減災のための

5

CHECK POINT



「家具の置き方」を工夫

大地震における怪我の原因の多くは、家具類の転倒・落下・移動によるものといわれています。「家具は必ず倒れるもの」と考え、固定器具などを活用した転倒・落下・移動の防止対策について、改めて確認しましょう。



「備蓄品」を確認

食糧や飲料水など（最低3日分。できれば1週間分）のほか、子ども・乳幼児がいる家庭、高齢者がいる家庭など、家族構成によって必要となるものを考え、備蓄しておきましょう。

* 飲料水 1人1日3ℓが目安



「非常持出品」を確認

避難生活で必要となる飲料水、食糧、生活用品を詰めた「非常持出品」を用意しておきましょう。発災時、すぐに持ち出せるよう、保管場所を家族で共有することも大切です。

* 昨年度、全世帯に配布した非常持出品袋をご活用ください。



「避難場所や避難経路」を確認

いざという時に慌てず避難できるよう、ハザードマップなどを活用し、避難場所や避難経路を確認しておきましょう。避難場所は、市が開設する避難所に限りません。安全であれば自宅に留まることや、親戚・知人の家への避難も検討してみましょう。

問合せ 防災対策課 ☎ 内線 337 FAX 21-7000